

ハロナ潮吹き穴

「ブルーハワイ」のタイトルに象徴される如く、ハワイを色で例えるとブルーがとても似合っている。しかし本当の色はグリーンではないかと私は思う。エメラルドグリーン of 海、緑いっばいの芝生、ヤシの木、そして山々。全てがグリーン一色である。

ハロナ潮吹き穴に着いた。ここはハナウマ湾の先であり、ハイウェー沿いの岩場に展望台が設けられていた。火山から流れ出した溶岩は海岸線を超え、海の中まで続いている。遠くにはサンディビーチの砂浜が美しく広がって見える。



眼下には溶岩でできた岩場の穴に海水が流れ込み、数十秒の間隔でまるで間欠泉のように、高さ 5~10m ほどの高さまで吹きあがる潮吹きが見える。ゴーツという音と共に、潮が空中高く吹き上げられる様子は迫力満点だ。

この展望台からよく晴れた日には、モロカイ島やラナイ島が見える。更にクジラの姿も目撃されているとか。そういった景色もさることながら、私のハワイの最高の魅力は、澄んだ空気、フレッシュな空気を胸一杯に吸い込むことであった。

太平洋の何もない海のだ真ん中に、ぽつりと存在する島に汚れた空気は全く存在しない。空気がこんなにも美味しいなんて、日本でそんな感覚を経験することは日常生活では無に等しい。さすがハワイまで来たかいたが思ったように思った。特にこの海の色は最高に美しく輝いていた。そして山の色も眩しいばかりに映えていた。ここは私にとって楽園・ハワイの美しさを満喫する場所であった。

撮影 2010 年冬

